

試聴会・訪問記掲載

上新電機オーディオ試聴会 (2016.4.17) —ZONOTONE のケーブルの試聴—

1. はじめに

上新電機日本橋 1 ばん館オーディオ試聴会で開催された ZONOTONE の試聴会に行ってきました。

2. 使用機器

CD プレイヤー : Accuphase DP-700

プリアンプ : Accuphase C-3800

パワーアンプ : Accuphase A-70

スピーカー : B&W 804D3



当日のセッティング

3. 試聴会の進行

ZONOTONE の前園氏が来場され同社の設計コンセプトや素材と構造への拘りについて詳しい説明を交えながら試聴が進行しました。今回の目的は新製品の Granster シリーズの紹介で、最後に同社のハイエンドケーブルのデモが加わりました。試聴に際しては、予め、ケーブルや電源ボックスの交換順序を示した表が配られ、それに従って試聴が行われるという経過でした。なお、C-3800→A-70 の RCA ケーブルと各機器の電源ケーブルは固定となっています。

まず、DP-70→C-3800 の RCA ケーブルを汎用ケーブルから順次同社の Granster シリーズのグレードの高い方に 4 種類交換しながら、Granster シリーズ開発の経過やグレード違いの構造と素材の説明を交えつつ試聴が行われました。音源はすべてノラ・ジョーンズのボーカルですが、グレードが上がるに従い、透明度が向上し、細か

い音がよく分かるようになることが分かりました。

次に、スピーカーケーブルを従来のモデルから **Granster** シリーズのグレードの高い方に 2 種類交換しましたが、それほど大きく変わるような印象はありませんでした。

ここで電源ボックスを試聴室備え付けのものから、同社の人気商品 2 種類に交換しましたが、音の量感が増すことは分かりましたが、音のグレードが劇的に変わるようなことはありませんでした。

さらにハイエンドケーブルのデモに移り、**RCA** ケーブル 3 種類、スピーカーケーブル 3 種類が順次交換されましたが、さすがにこのクラスになると押し出しも透明感も向上し、最後の組みあわせは納得できるレベルになったという印象でした。

4. まとめ

Granster シリーズの紹介という主旨の試聴会でしたが、ハイエンドクラスの実力を確認するという結果になりました。グレードを 1 段階上げるだけでは音質向上が明確に分からないこともあり、ケーブルの開発に於いて構造と素材だけに拘ることだけでいいのかどうか、例えば、線間容量や振動や反射や電源ケーブルに乗ってくるノイズの処理など、他のアプローチは必要ないと言い切れるのかどうかという疑問が残りました。なお、ソースがノラ・ジョーンズだけでしたので、機会があれば、フルオーケストラなどで実力を確認してみたいと思います。

以上